# 委員会審査の報告

（９月定例会で委員会に付託された議案等の審査を行いました。）

## 総務企画委員会　　委員長　児玉　康比古

**《令和８年度大洲市一般会計補正予算》**

**◆地域安全対策費について**

説明　防犯灯設置等補助金は、各地区の要望調査を踏まえ、49地区の防犯灯の補修40灯及び新設18灯に係る補助金を追加するものであり、防犯カメラ設置等補助金は、当初の見込みを上回る要望があったことから、６自治会が予定する７台分の整備費に対する補助金を追加するもの。

問　防犯カメラについて、市全体の設置状況、管理状況を一元的に把握する必要があるのではないか。

答　自治会等が補助を受けて設置している防犯カメラについては、設置場所を把握するとともに、大洲市防犯協会が設置するカメラについて情報を共有し、大洲警察署との連携を図っている。また、今後は市内全域における防犯カメラの設置場所や状況を的確に把握し、犯罪や交通事故等の発生時に活用できるよう検討を進めたい。

問　防犯カメラの設置後のメンテナンスや更新についての予定を教えてほしい。

答　現在は新設を対象とした補助制度であり、整備費の３分の２、１台当たり上限15万円を補助しているが、修繕・更新については今後の検討課題である。

要望　犯罪抑止や行方不明者の捜索等の観点から防犯カメラの設置を積極的に進めるとともに、自治会の負担軽減を図るため、標準的な機種の購入や施工方法などの情報共有を図ってほしい。

**◆第３次大洲市総合計画基本構想について**

説明　総合的かつ計画的な行政運営を図るため、第３次総合計画の基本構想を定めるものであり、市民アンケートやワークショップ、総合計画審議会等での意見を踏まえ策定されたもの。将来像を「もっとずっと大洲～肱川と人がつむぐ 住み続けたいまち～」とし、2060年の人口２万人を維持することを目標とするとともに、「子育て・教育」、「健康・福祉」、「まちづくり」、「産業・交流」、「協働・共生」、「行政運営」の６分野を基本政策としている。

問　人口ビジョンの改訂内容やパブリックコメントの反映状況、今後の基本計画の策定スケジュールを教えてほしい。

答　パブリックコメントの結果等を踏まえ、第３次計画最終年度である 2035年の目標人口を３万人から３万１千人に変更した。また、基本計画については12月議会を目途に概要を示したうえで、パブリックコメントを実施し、今年度内の完成を目指している。

問　最新の国勢調査の結果を人口ビジョンや基本構想の策定に活用できなかったのか。

答　令和７年の国勢調査結果は速報値であり、現時点では年齢別の人口などの詳細なデータが公表されていないため、住民基本台帳やその他の統計データを活用しながら基本構想案を策定した。基本計画の策定においても、できる限り最新のデータを活用して各種施策を検討していきたい。

要望　今後の人口減少を見据え、将来の人口規模に見合った公共施設の配置や行政運営を検討するようにしてほしい。

## 厚生文教委員会　　委員長　中野　寛之

**《令和８年度大洲市一般会計補正予算》**

**◆児童クラブ維持修繕工事費について**

説明　現在大洲児童クラブを設置しているアフタースクールおおずにおいて、地盤沈下により教室の床の一部に傾きが見られることから、児童の安全を確保するため、床下の支柱を補強、改修する工事を行うもの。既存のフローリング床を撤去し、金属の支柱を設置したのち、床を新たに張り直すもので、工期は約１ヶ月程度を見込んでいる。

問　修繕工事を実施している間、児童たちはどのように過ごすのか。

答　本施設は元大洲幼稚園であり、同一施設内のホール等を利用して保育を行うこととしている。